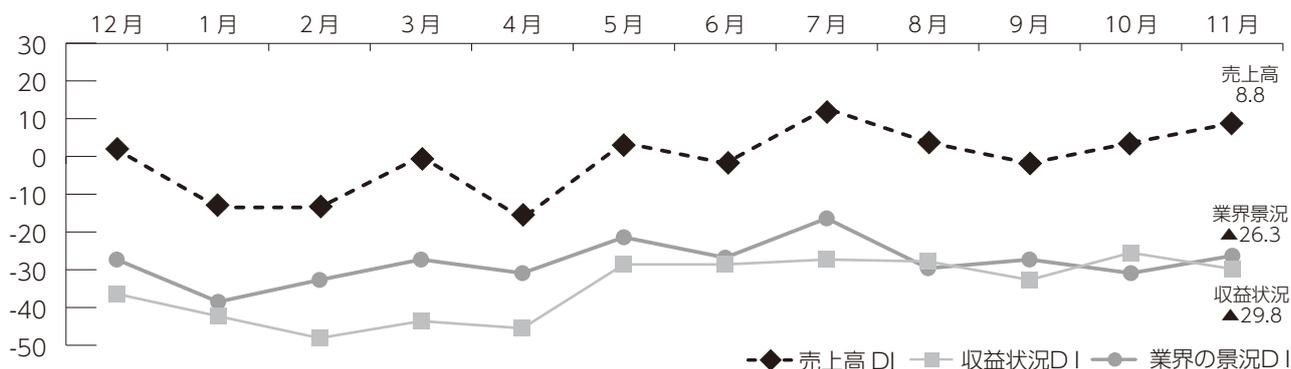


## 人件費・原材料費の高騰が経営の重荷に

### 概況

コロナの影響は薄れつつあり、商店街や観光地では人出が増え賑わいがみられた。一方で、人件費と原材料費の高騰による製造コスト増が経営の重荷となっており、事業継続に不安を抱える声や、企業の倒産に繋がるとの声が聞かれた。また、時給相場の上昇により、非正規労働者の確保にも苦慮している。

### 主要DIの推移（全体）



### 景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁☔	☀	☁	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔
製造業	食料品	☀	☁	☀	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔
	繊維製品	☀	☁	☁☔	☁	☁	☁☔	☁☔	☁☔
	窯業・土石	☁☔	☁	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔
	機械・金属	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔
	その他	☁	☁☔	☁☔	☁	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔
非製造業	卸売業	☀	☁	☁	☁	☁	—	☁☔	☁
	小売業	☁	☁☔	☀	☁☔	☁☔	—	☁	☁☔
	商店街	☁☔	☁☔	☀	☁☔	☁☔	☁☔	—	☁☔
	サービス業	☁☔	—	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔	—	☁☔
	建設業	☁	—	☁	☁☔	☁☔	☁☔	—	☁☔
	運輸業	☁	—	☀	☁☔	☁☔	☁☔	—	☁☔



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。  
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

## コメント掲示板

### 《製造業》

<b>食 料 品</b>	<p><b>[パン]</b> 原材料費・水道光熱費・人件費・資材費等、軒並み製造コストが上昇しており、学校給食事業継続に不安を抱える声が聞かれる。</p> <p><b>[菓子]</b> 全体的に昨年より良く、温泉地での同窓会の増加が売上増に寄与している。</p> <p><b>[めん類]</b> 原材料・資材価格が高止まりする中、時給相場の上昇によりパートタイム労働者等の確保に苦慮している。</p>
<b>織 維 製 品</b>	<p><b>[織物]</b> ゆかた関連商品は、祭りや花火大会の再開に伴い商品が動き出し、流通在庫が減少した。また、商談が進みつつあり景況の好転に期待が持てる。一方で、和装の絹商品は動きが鈍化している。</p> <p><b>[刺繍]</b> アパレル関係は厳しい状況にあるも、イベント関連の商品が増えている。</p> <p><b>[インテリア関連]</b> 原材料価格が再び上昇しており価格転嫁の交渉を進めたいが、商品の動きが良くないため躊躇している。</p>
<b>窯業・土石</b>	<p><b>[生コンクリート]</b> 出荷量は東毛地区及び西毛地区が好調も、中央地区が振るわず、その他の地区も低調で、全体としても前年比で落ち込んだ。</p> <p><b>[碎石]</b> 売上は東毛地区及び西毛地区で増加するも渋川・沼田・吾妻地区で減少したため、全体では減少。公共事業量が少なく、景況感も全体的に悪化している。</p>
<b>機 械 ・ 金 属</b>	<p><b>[機械金属（高崎市）]</b> 自動車関連は、受注量は増加しており年度末までは好調となる見込み。一方で、建設関連は大きく落ち込む。資金繰りが厳しい事業者もみられる。</p> <p><b>[船舶]</b> 物流の2024年問題を受け、トラック等の自動車で行われている貨物輸送を鉄道や船舶の利用へと転換する「モーダルシフト」の動きがあり、需要の高まりに期待が持てる。</p> <p><b>[半導体製造装置]</b> 前年比で約1割伸びており好調が続く。来年夏頃に半導体需要のピークを迎える見通しで、生産体制の強化に向けた設備投資を活発に進めている。</p> <p><b>[自動車関連]</b> 自動車のEVシフトが急加速しており、部品生産への影響を懸念している。また、コロナゼロ融資の返済が始まり、厳しさに拍車がかかる。</p>
<b>そ の 他</b>	<p><b>[製材]</b> 荷動きについては前年同水準であるも、コストの上昇に対する転嫁が難しく、収益状況は悪化した。</p> <p><b>[紙製品]</b> 食品や家庭用品等の物価上昇により買い控えの動きがあり、販売数量が減少している。また、大手通販メーカーによる段ボール箱から紙袋に切り替える動きを危惧。</p>

### 《非製造業》

<b>卸 売 業</b>	<p><b>[電気機械器具]</b> 大手家電量販店やネット通販など小売業の多様性が進むとともに価格競争が激化しており、厳しい状況にある。</p> <p><b>[再生資源]</b> 鉄屑は、スクラップの発生や荷動きが低調で勢いに欠ける状況。輸出相場は上昇傾向にあるも円高進行で方向感を欠き様子見の状況。</p>
<b>小 売 業</b>	<p><b>[石油]</b> ガソリン等に関しては前年同水準の売上も、気温が高かったため灯油は低調であった。小売価格が安定に推移している状況の中、トリガー条項の発動は、価格が乱高下し、大きな混乱を招く恐れがあることから業界としては反対の意向。</p> <p><b>[米穀]</b> 新米の時期だが、親戚からの贈り物や農家からの直接購入、ふるさと納税の返礼品で入手する消費者の増加により、売上は大きく落ち込む。</p>
<b>商 店 街</b>	<p><b>[前橋市]</b> 若者の人出が上昇するエリアがみられるため、交差する商店街や近隣の通りに波及し、面としての賑わいが出ることに期待する。</p> <p><b>[高崎市]</b> 駅周辺に賑わいがみられ、コロナ禍前に戻りつつある。マンション計画が進み人口増加は嬉しいが、店舗の減少を危惧。</p>
<b>サ ー ビ ス 業</b>	<p><b>[伊香保温泉]</b> 気温が高かったことにより紅葉が長く楽しめ、平日でも賑わいがみられるも、日帰り観光が増加している様子。今後は個人や少数グループによる宿泊が期待できるが、暖房の経費増を不安視。</p> <p><b>[建築設計]</b> 建築設計士の人手不足が加速しており、労務単価の上昇が避けられず、建築費上昇の要因となっている。</p> <p><b>[不動産]</b> あらゆる建築資材が高騰しており、個人住宅の需要は停滞している。</p>
<b>建 設 業</b>	<p><b>[建設工事]</b> 材料価格や人件費等の上昇が課題となる中、経営基盤の乏しい企業の倒産が増加している。また、図面の再作成や図面と現場の不一致等、受注者の負担が増えている。</p> <p><b>[電気工事]</b> 電線製造企業の一部製造中止や大阪万博の建設により、東日本への高圧電線等の供給に支障をきたし、納期に4～5カ月かかる弊害が生じている。</p>
<b>運 輸 業</b>	<p><b>[一般貨物運送]</b> 飲料水や野菜の輸送量は落ち着くも、キノコやこんにゃくの輸送は順調であった。また、適正な取引を阻害する疑いのある荷主・元請事業者の監視を強化する「トラックGメン」は、通報者が特定されることを不安視することから成果は限定的との見方。</p>

※本調査は、情報連絡員57人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。